

# 平成28年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	福岡県		市町村類型	IV-2	指定団体等の指定状況		区分		平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	区分		平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)																																																																																																																																																																											
	福岡県				財政健全化等	×	歳入総額	10,232,691			10,559,757	実収支比率			12.4	14.4																																																																																																																																																																									
市町村名	川崎町		地方交付税種地	2-3	財源超過	×	歳出総額	9,629,153	9,849,287	経常収支比率	95.3	94.7																																																																																																																																																																													
人口	27年国調(人)	16,789	産業構造(※5)	財源超過	×	歳入歳出差引	603,538	710,470	(※1)	(99.5)	(99.9)																																																																																																																																																																														
	22年国調(人)	18,264		首都	×	翌年度に繰越すべき財源	7,521	13,866	標準財政規模	4,813,910	4,852,711																																																																																																																																																																														
増減率(%)	-8.1	近畿		×	実収支	596,017	696,604	財政力指数	0.30	0.29																																																																																																																																																																															
住民基本台帳人口(※7)	29.01.01(人)	17,531		第1次	中部	×	単年度収支	-100,587	10,346	公債費負担比率	18.0	15.8																																																																																																																																																																													
	うち日本人(人)	17,428			150	162	過疎	○	積立金	11,274	201,020	健全化判断比率																																																																																																																																																																													
	28.01.01(人)	17,825	第2次	低開発	×	繰上償還金	123,400	-	実収赤字比率	-	-																																																																																																																																																																														
	うち日本人(人)	17,729		2.5	2.6	指数表選定	○	積立金取崩し額	-	-	連結実収赤字比率	-	-																																																																																																																																																																												
	増減率(%)	-1.6		1,585	1,669	実収単年度収支	34,087	211,366	実収公債費比率	8.8	9.5																																																																																																																																																																														
	面積(km <sup>2</sup> )	36.14		第3次	4,254	4,493	基準財政収入額	1,331,892	1,270,305	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																															
	人口密度(人/km <sup>2</sup> )	465			71.0	71.0	基準財政需要額	4,281,642	4,272,110																																																																																																																																																																																
世帯数(世帯)	7,349					標準税収入額等	1,667,739	1,591,510																																																																																																																																																																																	
職員状況																																																																																																																																																																																									
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	12,641,419	12,733,101																																																																																																																																																																															
	市区町村長	1	7,050	一般職員	188	580,168	3,086	うち公的資金	11,678,229	11,776,330																																																																																																																																																																															
	副市区町村長	1	5,720	うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	634,245	629,311																																																																																																																																																																															
	教育長	1	5,150	うち技能労務職員	11	39,490	3,590	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																															
	議会議長	1	2,985	教育公務員	6	18,750	3,125	土地開発基金現在高	-	-																																																																																																																																																																															
	議会副議長	1	2,643	臨時職員	-	-	-	財政調整基金	1,486,741	1,475,467																																																																																																																																																																															
	議会議員	14	2,450	合計	194	598,918	3,087	減債基金	302,243	425,363																																																																																																																																																																															
				ラスバイレス指数				95.8	その他特定目的基金	1,154,356	1,093,620																																																																																																																																																																														
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(4)</td> <td>国民健康保険事業勘定特別会計</td> <td>(6)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(7)</td> <td>福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)</td> <td>(17)</td> <td>川崎町立病院</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>学校給食センター特別会計</td> <td>(5)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(8)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)</td> <td>(18)</td> <td>川崎D・愛</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>住宅新築資金等貸付事業特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>福岡県自治会館管理組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>福岡県田川地区消防組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>田川郡東部環境衛生施設組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>田川地区斎場組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>福岡県自治振興組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>田川地区清掃施設組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>															一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)	(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業勘定特別会計	(6)	水道事業会計	(7)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)	(17)	川崎町立病院					○	(2)	学校給食センター特別会計	(5)	後期高齢者医療特別会計			(8)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	(18)	川崎D・愛					○	(3)	住宅新築資金等貸付事業特別会計					(9)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)														(10)	福岡県自治会館管理組合(一般会計)														(11)	福岡県田川地区消防組合(一般会計)														(12)	田川郡東部環境衛生施設組合(一般会計)														(13)	田川地区斎場組合(一般会計)														(14)	福岡県自治振興組合(一般会計)														(15)	福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)														(16)	田川地区清掃施設組合(一般会計)							
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																				
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)																																																																																																																																																																											
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業勘定特別会計	(6)	水道事業会計	(7)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)	(17)	川崎町立病院					○																																																																																																																																																																											
(2)	学校給食センター特別会計	(5)	後期高齢者医療特別会計			(8)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	(18)	川崎D・愛					○																																																																																																																																																																											
(3)	住宅新築資金等貸付事業特別会計					(9)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)																																																																																																																																																																																		
						(10)	福岡県自治会館管理組合(一般会計)																																																																																																																																																																																		
						(11)	福岡県田川地区消防組合(一般会計)																																																																																																																																																																																		
						(12)	田川郡東部環境衛生施設組合(一般会計)																																																																																																																																																																																		
						(13)	田川地区斎場組合(一般会計)																																																																																																																																																																																		
						(14)	福岡県自治振興組合(一般会計)																																																																																																																																																																																		
						(15)	福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)																																																																																																																																																																																		
						(16)	田川地区清掃施設組合(一般会計)																																																																																																																																																																																		

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	1,240,747	12.1	1,240,747	26.9	普通税	1,240,747	100.0	5,242	
地方譲与税	71,889	0.7	71,889	1.6	法定普通税	1,240,747	100.0	5,242	
利子割交付金	1,045	0.0	1,045	0.0	市町村民税	458,999	37.0	5,242	
配当割交付金	3,419	0.0	3,419	0.1	個人均等割	20,886	1.7	-	
株式等譲渡所得割交付金	2,277	0.0	2,277	0.0	所得割	385,572	31.1	-	
地方消費税交付金	279,018	2.7	279,018	6.0	法人均等割	26,041	2.1	-	
ゴルフ場利用税交付金	13,326	0.1	13,326	0.3	法人税割	26,500	2.1	5,242	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	540,047	43.5	-	
自動車取得税交付金	19,139	0.2	19,139	0.4	うち純固定資産税	527,797	42.5	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	55,993	4.5	-	
地方特例交付金	2,020	0.0	2,020	0.0	市町村たばこ税	185,708	15.0	-	
地方交付税	3,371,881	33.0	2,944,562	63.8	釧産税	-	-	-	
普通交付税	2,944,562	28.8	2,944,562	63.8	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	427,319	4.2	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	-	-	-	
(一般財源計)	5,004,761	48.9	4,577,442	99.2	法定目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	3,319	0.0	3,319	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	275,533	2.7	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	449,790	4.4	6,137	0.1	都市計画税	-	-	-	
手数料	51,479	0.5	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	1,385,810	13.5	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	656,899	6.4	-	-	合計	1,240,747	100.0	5,242	
財産収入	84,866	0.8	21,277	0.5					
寄附金	122,597	1.2	-	-					
繰入金	226,131	2.2	-	-					
繰越金	710,470	6.9	-	-					
諸収入	92,727	0.9	4,109	0.1					
地方債	1,168,309	11.4	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	201,609	2.0	-	-					
歳入合計	10,232,691	100.0	4,612,284	100.0					

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況			
合計	1,176,007	実質収支	-565,570		
上水道	202,504	再差引収支	-722,301		
工業用水道	-	加入世帯数(世帯)	2,747		
交通	-	被保険者数(人)	4,350		
電気	-	被保険者	62	保険料(料)収入額	
国民健康保険	334,791	1人当り	159	国庫支出金	
その他	638,712		312	保険給付費	

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	123,000	1.3	-	122,967	
総務費	1,346,968	14.0	20,582	898,754	
民生費	3,552,364	36.9	-	1,731,815	
衛生費	838,213	8.7	15,827	576,291	
労働費	16,703	0.2	-	16,703	
農林水産業費	94,560	1.0	8,432	71,967	
商工費	90,312	0.9	2,824	51,258	
土木費	1,017,295	10.6	768,136	243,466	
消防費	389,441	4.0	159,561	230,402	
教育費	763,536	7.9	114,460	507,940	
災害復旧費	7,972	0.1	-	55	
公債費	1,388,789	14.4	-	1,108,580	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	9,629,153	100.0	1,089,822	5,560,198	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	5,098,199	52.9	3,091,499	2,967,522	61.6
人件費	1,742,202	18.1	1,455,610	1,455,079	30.2
うち職員給	1,108,913	11.5	896,238	-	-
扶助費	1,967,208	20.4	527,309	527,263	11.0
公債費	1,388,789	14.4	1,108,580	985,180	20.5
元利償還金	1,387,491	14.4	1,107,282	983,882	20.4
内 うち元金	1,259,991	13.1	979,913	856,513	17.8
訳 うち利子	127,500	1.3	127,369	127,369	2.6
一時借入金利子	1,298	0.0	1,298	1,298	0.0
その他の経費	3,429,543	35.6	2,328,740	1,621,589	33.7
物件費	1,104,445	11.5	634,897	340,304	7.1
維持補修費	22,797	0.2	20,284	20,284	0.4
補助費等	956,737	9.9	857,156	647,727	13.5
うち一部事務組合負担金	430,997	4.5	421,305	397,573	8.3
繰出金	973,503	10.1	805,334	613,274	12.7
積立金	175,021	1.8	1,069	-	-
投資・出資金・貸付金	197,040	2.0	10,000	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,101,411	11.4	139,959	-	-
うち人件費	31,269	0.3	19,872	-	-
普通建設事業費	1,089,822	11.3	136,287	-	-
うち補助	647,610	6.7	37,820	-	-
うち単独	442,212	4.6	98,467	-	-
災害復旧事業費	7,972	0.1	55	-	-
失業対策事業費	3,617	0.0	3,617	-	-
歳出合計	9,629,153	100.0	5,560,198	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成28年度 福岡県川崎町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	10,833	9,672	1,161	1,153	226	13,205	
2 学校給食センター特別会計	160	164	▲ 3	▲ 3	98	-	
3 住宅新築資金等貸付事業特別会計	26	580	▲ 554	▲ 554	9	2	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							

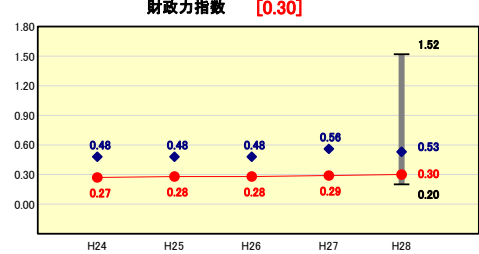
### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	17,531	人(H29.1.1現在)	-	%
うち日本人	17,428	人(H29.1.1現在)	-	%
面積	36.14	km <sup>2</sup>	-	%
歳入総額	10,232,691	千円	8.8	%
歳出総額	9,629,153	千円	67.0	%
実質収支	596,017	千円		
標準財政規模	4,813,910	千円		
地方債現在高	12,641,419	千円		
実質赤字比率	-	%		
連結実質赤字比率	-	%		
実質公債費比率	8.8	%		
将来負担比率	67.0	%		
市町村類型	H24 IV-2 H25 IV-2 H26 IV-2			
(年度毎)	H27 IV-2 H28 IV-2			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

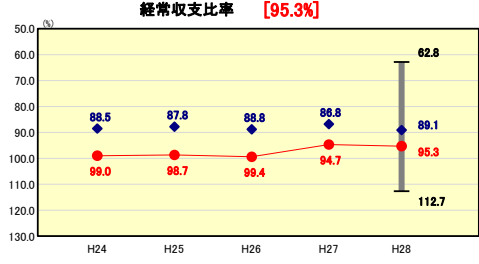
#### 財政力



財政力指数の分析欄

人口減少に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、恒常的に財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。  
 長期的視野での投資的経費の峻別、抑制を行い、歳入の徹底的な見直しを実施するとともに、活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化を努めることにより、財政の健全化を図る。

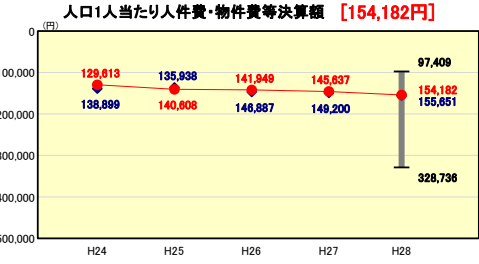
#### 財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

平成13年度から実施してきた財政健全化計画に基づいた、人件費、公債費の抑制をおこなってきたことにより、義務的経費を圧縮してきたが、歳入の経常的一般財源等の減も年々大きい為、類似団体平均より高い比率となっている。  
 今後も、投資的事業の抑制により公債費を削減するとともに、行政改革による新規職員採用及び臨時嘱託職員採用の抑制により努めていく。

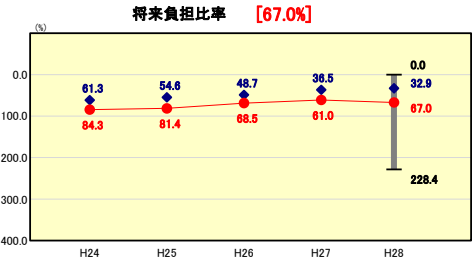
#### 人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

類似団体とほぼ同額であるが、全国平均と比較し31,047円高くなっているのは、主に人件費が要因となっている。平成26年度より給食センターの調理及び配送の民間委託を実施しているもの、老人ホーム、保育所は直営で行っている状況である。  
 現在、民間で実施可能なものについては、積極的に指定管理者制度の導入を進めるよう検討を始めている。  
 また、本庁においても各課の事務事業の見直しを行い定年退職者に伴う新規職員採用の抑制に努め、人件費の削減を図る。

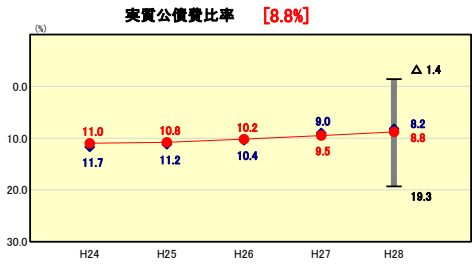
#### 将来負担の状況



将来負担比率の分析欄

将来負担比率は67.0%である。  
 将来負担額について、定年退職者と新規職員の入替えにより退職手当見込額が減少したことから全体として比率が減少気味であったが、田川市郡広域で、ごみ処理施設やし尿処理施設等の建設計画が本格的に稼働し、それに伴う負担金の増加が見込まれる。今後、後世への負担を少しでも軽減できるよう、財政健全化に努める。

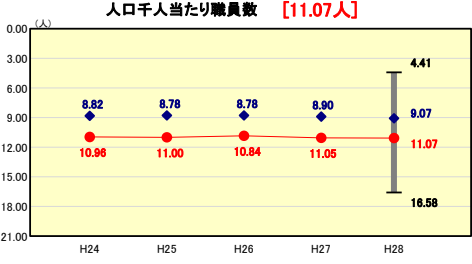
#### 公債費負担の状況



実質公債費比率の分析欄

過去に実施した投資的事業により、全国平均より高くなっているが、平成13年度からの財政健全化計画による投資的事業の抑制により年々減少し、平成28年度の決算において、8.8%となったが、次年度以降に統合中学校建設などの大型事業が控えているため、今後も、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の取捨選択により、新規発行の抑制に努めていく。

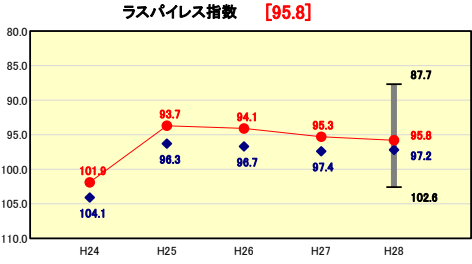
#### 定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄

本町においては、平成26年度に給食センターの運営を民間に一部委託したが、保育所及び老人ホームなどの施設を直営で行っているために、職員数が類似団体平均を上回っている。平成28年度から30年度にかけて、定年退職者が30名程度発生するが、新規職員採用を抑制し事務事業の見直しを行い、より適正な定員管理に努める。

#### 給与水準 (国との比較)



ラスパイレズ指数の分析欄

平成13年度から平成25年度まで実施した財政健全化計画に基づく職員の給与カットの実施により、類似団体平均、全国平均より低い水準にある。  
 今後も引き続き、より一層の給与適正化に努める。

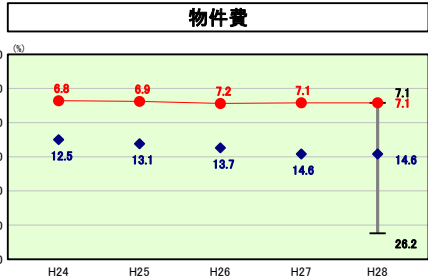
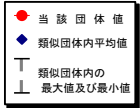
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

福岡県川崎町

## 経常収支比率の分析

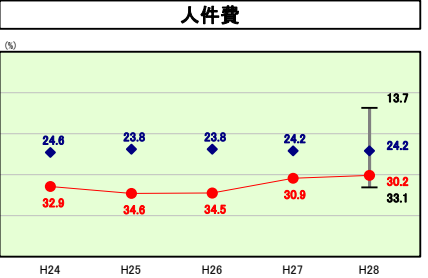
人口	17,531	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	17,428	人(H29.1.1現在)	運実質赤字比率	-	%
面積	36.14	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	8.8	%
歳入総額	10,232,691	千円	将来負担比率	67.0	%
歳出総額	9,629,153	千円			
実質収支	596,017	千円	市町村類型	H24 IV-2 H25 IV-2 H26 IV-2	
標準財政規模	4,813,910	千円	(年度毎)	H27 IV-2 H28 IV-2	
地方債現在高	12,641,419	千円			



類似団体内順位 1/63 全国平均 14.8 福岡県平均 14.6

**物件費の分析欄**

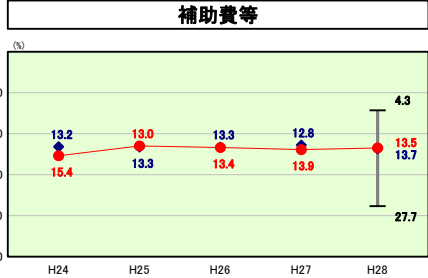
財政健全化計画に基づき、費用削減に努めた結果、類似団体中最も低い比率を維持してきている。今後は、業務の民間委託を推進し、職員人件費等から委託料といった物件費へのシフトを検討する等、費用全体の削減に努めていく。



類似団体内順位 56/63 全国平均 23.7 福岡県平均 21.2

**人件費の分析欄**

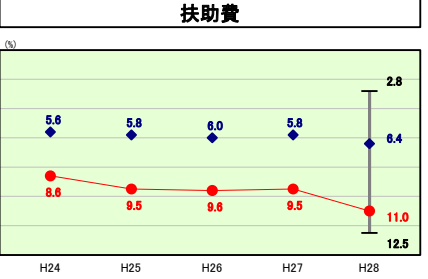
類似団体平均と比較し高い水準にあるのは、老人ホーム、保育所等の施設運営を直営で行っていることが主な要因であるため、現在、民営化等の手法の検討を始めている。職員採用の方針としては、定年退職者の同数を新規職員採用で補充するのではなく、事務事業の見直しを行い人件費の削減に努める。



類似団体内順位 26/63 全国平均 10.4 福岡県平均 10.9

**補助費等の分析欄**

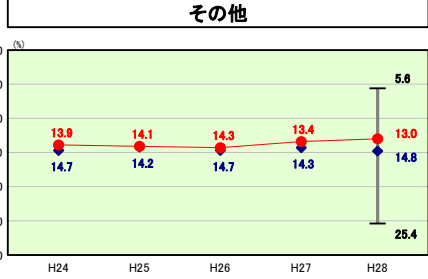
各種団体への補助金や一部事務組合(清掃施設組合、消防組合)への補助費といった経常的な費用が発生しているため、類似団体平均とはほぼ同率であるが全国平均を上回っている。現在、補助金等検討委員会を設置し補助金等の精査を行っているところであり、今後、必要性の低い補助金は見直しや廃止を行う方針である。



類似団体内順位 61/63 全国平均 12.4 福岡県平均 14.2

**扶助費の分析欄**

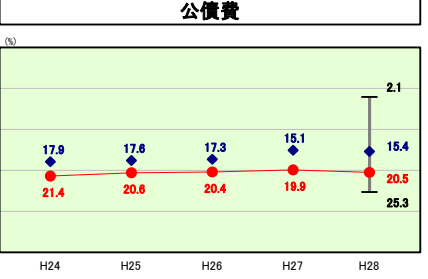
扶助費に係る経常収支比率が高い理由としては、障害者支援給付費、障害者更生医療給付費の額が膨らんでいることが挙げられる。資格審査等の適正化等を進め財政を圧迫する上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。



類似団体内順位 20/63 全国平均 13.5 福岡県平均 13.4

**その他の分析欄**

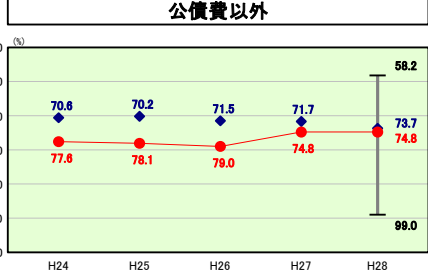
国保会計への赤字補填を含む繰出金及び他の特別会計への繰出金が大割合を占めている。今後も国保会計については、赤字解消に向け医療費の削減と保険料収入の確保に努め、普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



類似団体内順位 53/63 全国平均 17.7 福岡県平均 20.2

**公債費の分析欄**

過去に実施した投資的事業により比率は高くなっているが、平成13年度からの財政健全化計画による投資的事業の抑制により毎年少しずつ比率が減少していたが、公営住宅の建替事業が本格的に開始し公債費を増加させる要因となっている。建替事業は、町営住宅ストック総合活用計画に基づき今後も継続していく予定であり、次年度以降に統合中学校建設などの大型事業が控えているため、今後も、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の取捨選択により、新規発行の抑制に努めていく。



類似団体内順位 29/63 全国平均 74.8 福岡県平均 74.3

**公債費以外の分析欄**

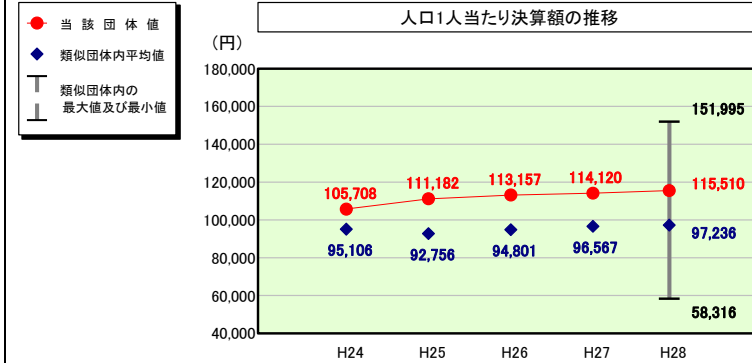
類似団体、全国平均とほぼ同率であるが、内訳である人件費や扶助費は類似団体と比較して高い傾向にある。人件費については、事務事業の見直しを行い新規職員採用を抑制し、扶助費については、資格審査等の適正化を進めていくなど、比率の引き下げが実現できるよう努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

福岡県川崎町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

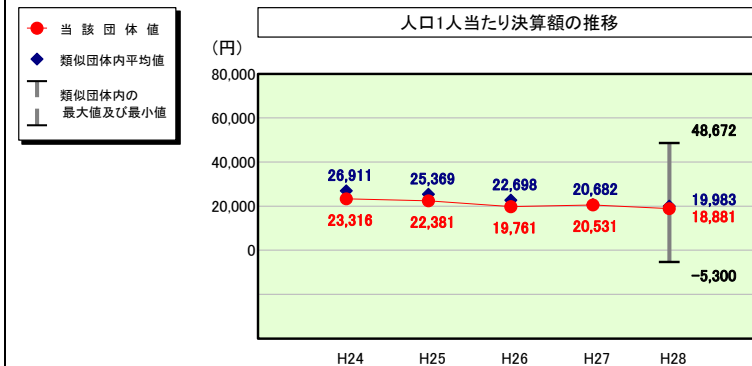
## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,742,202	99,378	79,561	▲24.9
賃金(物件費)	191,639	10,931	7,948	▲37.5
一部事務組合負担金(補助費等)	197,260	11,252	11,971	▲6.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	8,337	476	484	▲1.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	52,051	2,969	3,782	▲21.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	31,269	1,784	1,791	▲0.4
▲退職金	▲197,749	▲11,280	▲8,307	▲35.8
合計	2,025,009	115,510	97,236	18.8

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11.07	9.07	2.00
ラスパイレス指数	95.8	97.2	▲1.4

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

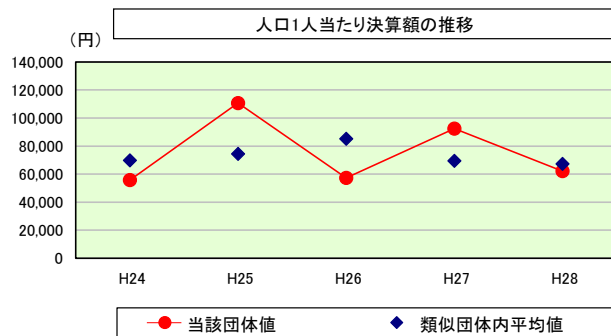


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,373,338	78,338	47,831	63.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	13	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	4,200	240	14,490	▲98.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	77,986	4,448	3,677	21.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,018	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	1,298	74	7	957.1
▲特定財源の額	▲316,625	▲18,061	▲3,521	413.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲809,198	▲46,158	▲43,531	6.0
合計	330,999	18,881	19,983	▲5.5

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H24	1,048,366	55,776	▲23.7	69,806	13.4	▲37.1
うち単独分	635,855	33,829	▲42.2	32,823	1.0	▲43.2
H25	2,062,623	110,644	98.4	74,444	6.6	91.8
うち単独分	990,527	53,134	57.1	34,175	4.1	53.0
H26	1,046,571	57,321	▲48.2	85,205	14.5	▲62.7
うち単独分	520,540	28,510	▲46.3	38,847	13.7	▲60.0
H27	1,648,002	92,455	61.3	69,469	▲18.5	79.8
うち単独分	1,026,701	57,599	102.0	38,215	▲1.6	103.6
H28	1,089,822	62,165	▲32.8	67,293	▲3.1	▲29.7
うち単独分	442,212	25,225	▲56.2	35,076	▲8.2	▲48.0
過去5年間平均	1,379,077	75,672	11.0	73,243	2.6	8.4
うち単独分	723,167	39,659	2.9	35,827	1.8	1.1

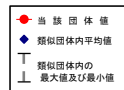


# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

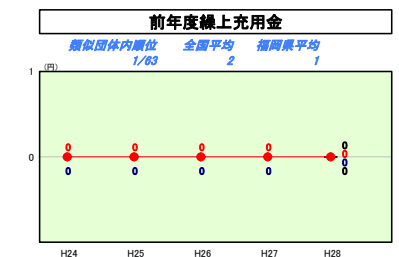
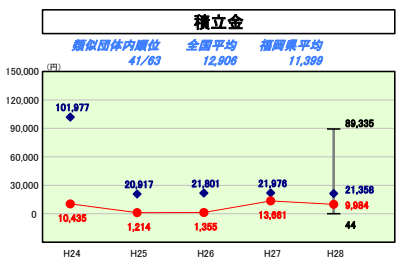
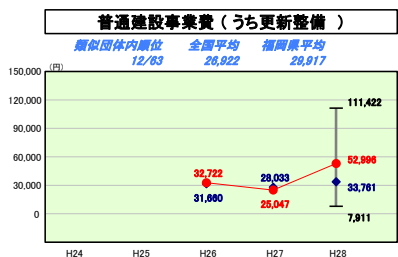
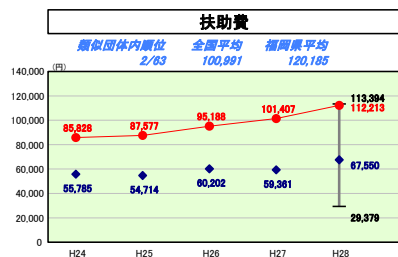
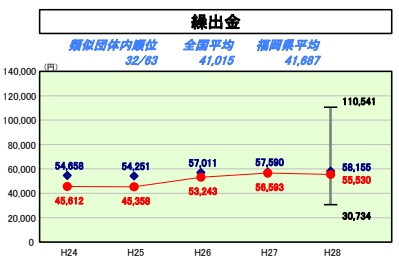
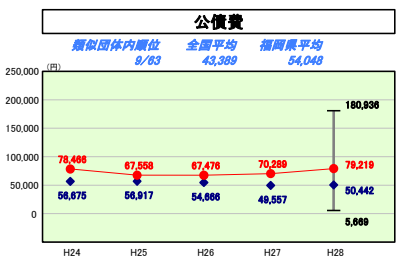
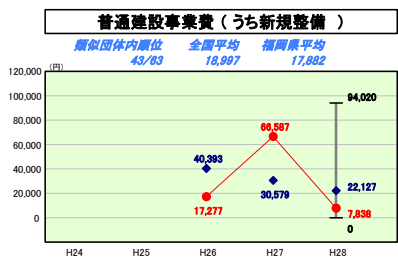
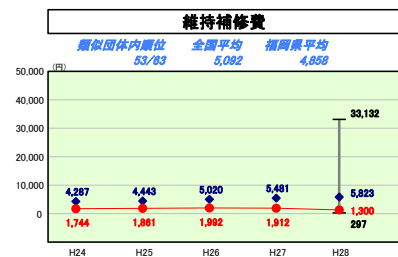
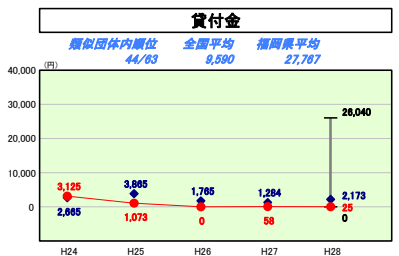
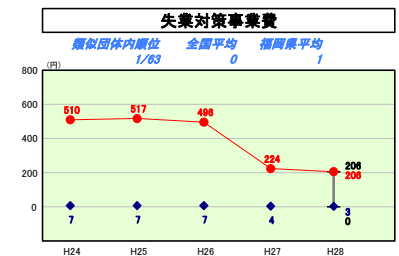
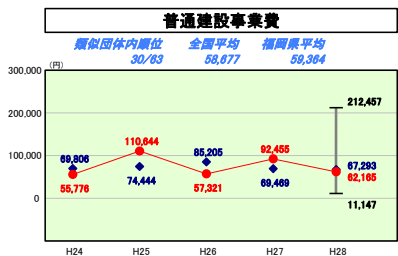
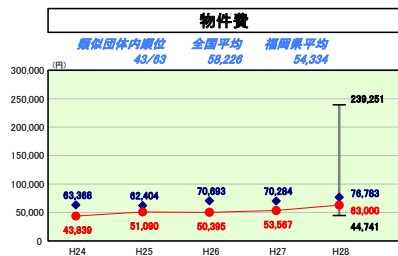
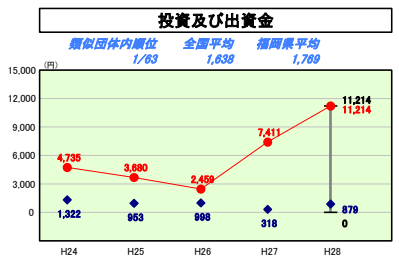
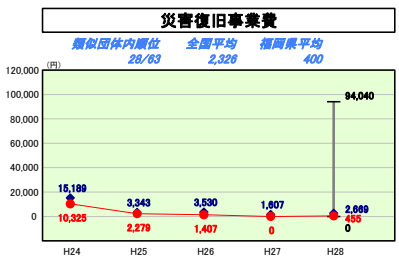
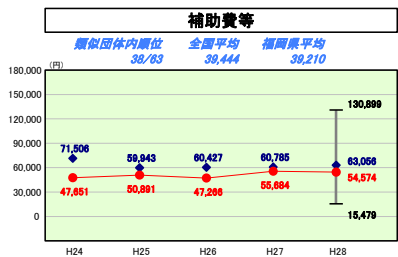
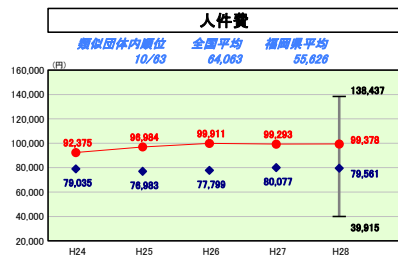
平成28年度

福岡県川崎町

人口	17,531	人(29.1万)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	17,428	人(29.1万)	通算実質赤字比率	-	%
面積	36.14	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	8.8	%
歳入総額	10,232,801	千円	将来負担比率	67.0	%
歳出総額	9,829,153	千円	市町村類型	H24 IV-2 H25 IV-2 H26 IV-2	
実質収支	596,017	千円	(年度毎)	H27 IV-2 H28 IV-2	
標準財政規模	4,813,910	千円			
地方債現在高	12,641,419	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析

歳出決算総額は、住民一人当たり549,264円となっている。主な構成項目は、人件費(構成比18.1%)、扶助費(構成比20.4%)、公債費(構成比14.4%)と義務的経費が占めている。人件費については、老人ホーム、保育所を直営で行っていることもあるが、民間で実施可能なものについては、積極的に指定管理者制度等の導入検討を始め、本庁においても各課の事務事業の見直しを行い定年退職者に伴う新規採用職員の抑制に努め、人件費の削減を図る。扶助費については、臨時福祉給付金制度が加わり、社会保障関連経費が増加したこともあるが、本町は障害者支援給付費、障害者更生医療給付費の額が年々増加傾向にある。資格審査等の適正化等を進め財政を圧迫する上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。普通建設事業費では、町立老人福祉施設建設完了に伴い新規整備事業費は大幅に減少しているが、公営住宅の建替整備事業費の増に伴い更新整備費が増加し、類似比較で住民一人あたり19,235円多くなっている。建替事業は、町営住宅ストック総合活用計画に基づき今後も継続していく予定であるので、他の普通建設事業費とのバランスを常に検証し実施していくように努める。投資及び出資金では、平成30年度上水受水開始に向けた田川地区水道企業団への出資に伴い、住民一人当たり11,214円と類似平均を大きく上回り類似上位となっているが、平成30年度以降減少する見込みである。失業対策事業費が、本町では炭鉱閉山後の失業対策事業を平成22年度の関係法失効後も町独自で事業実施しているため、他団体ではほとんど費用がかからないところ、費用がかかっているが、平成30年度以降減少する見込みである。

# (6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

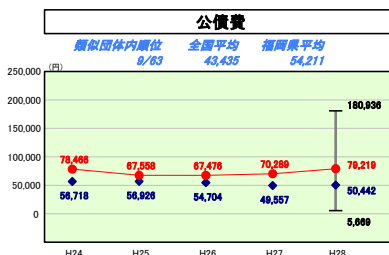
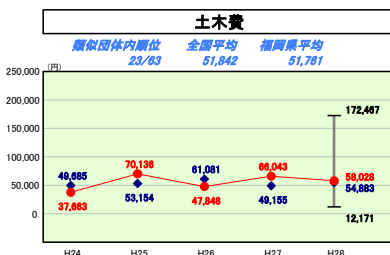
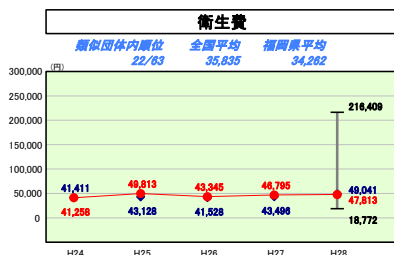
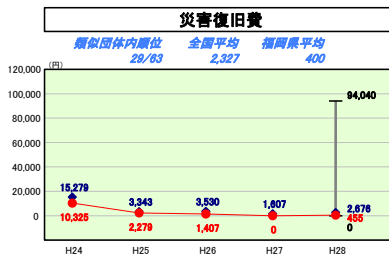
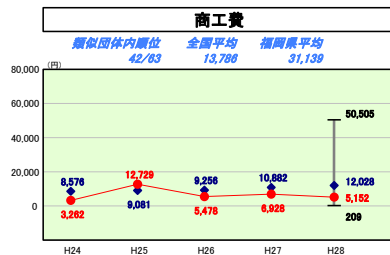
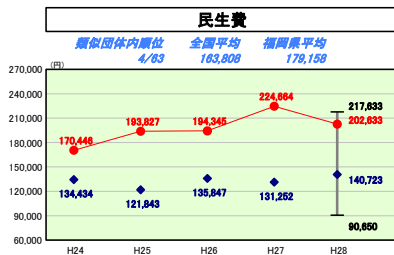
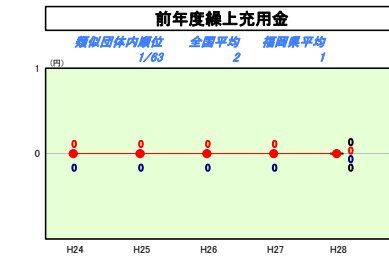
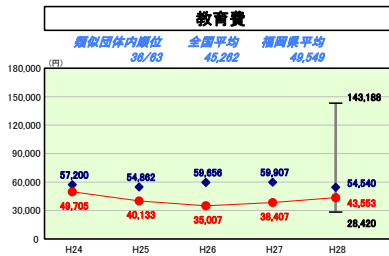
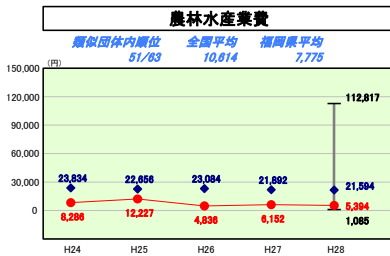
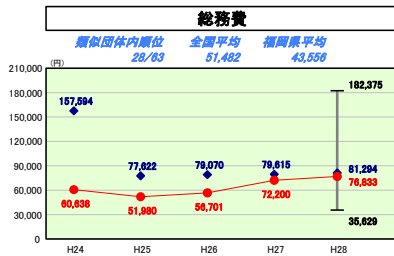
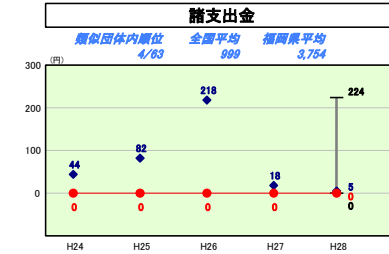
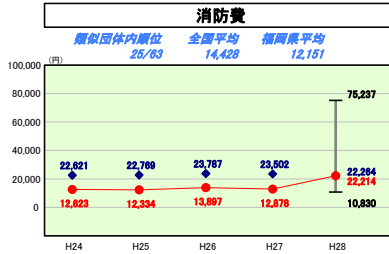
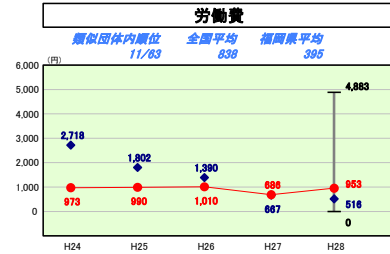
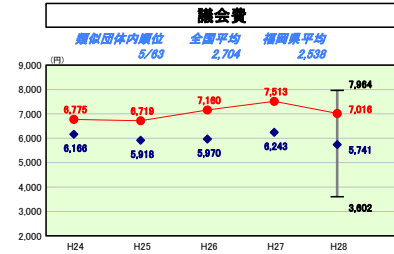
平成28年度

福岡県川崎町

人口	17,531人	(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	17,428人	(H29.1.1現在)	通算実質赤字比率	-%
面積	36.14	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	8.8%
歳入総額	10,232,801	千円	将来負担比率	67.0%
歳出総額	9,629,153	千円		
実質収支	596,017	千円	市町村類型	H24 IV-2 H25 IV-2 H26 IV-2
標準財政規模	4,813,910	千円	(年度毎)	H27 IV-2 H28 IV-2
地方債現在高	12,641,419	千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 目的別歳出の分析概

議会費が類似比較で住民一人当たり1,275円多くなっている主な要因として、人件費及び議員数が挙げられる。人件費については、次年度より職員数を減とする予定であり、議員定数については改選時期に定数減を行ってきており、今後も議論されていく見込みである。  
 民生費は、決算額全体の構成比は、36.9%を占めており、住民一人当たり202,633円と類似団体中4位となっている。要因としては、障害者支援給付費、障害者更生医療給付費が年々増加している影響もあるが、老人ホーム、保育所等に職員を配置した直営施設を運営しており人件費の割合が高いのも要因の一つである。今後は、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の導入検討を始めており、コストの低減に努めていく。

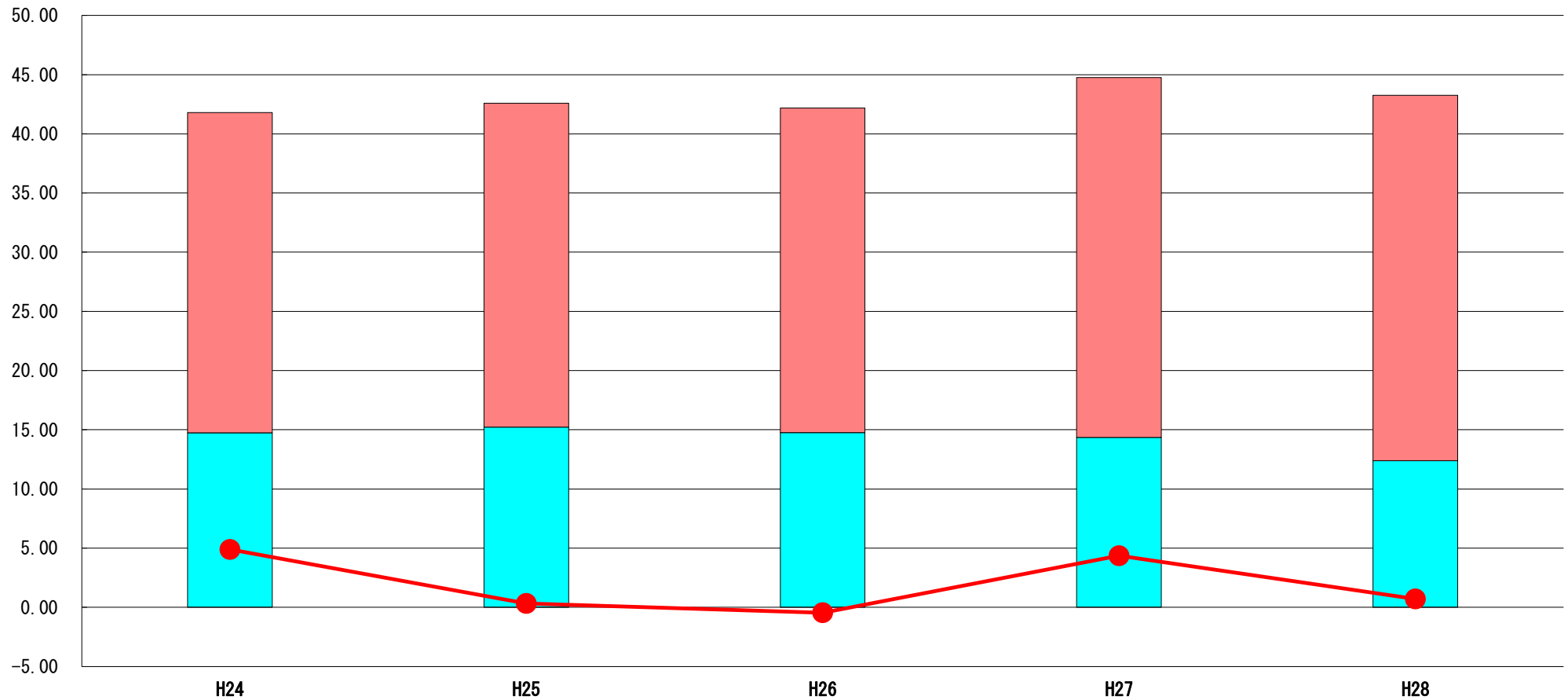


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成28年度

福岡県川崎町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		27.05	27.37	27.42	30.41	30.88
 実質収支額		14.74	15.22	14.76	14.35	12.38
 実質単年度収支		4.89	0.33	▲ 0.45	4.36	0.71

### 分析欄

平成13年度から実施してきた財政健全化計画に基づいた、人件費、公債費等の抑制をおこなってきたことにより、平成16年度から実質収支額は継続的に黒字を確保し、財政調整基金残高についても適正な財源の確保と歳出の精査により、大幅な取崩しを回避しており平成23年度からほ若干の微増を維持している。

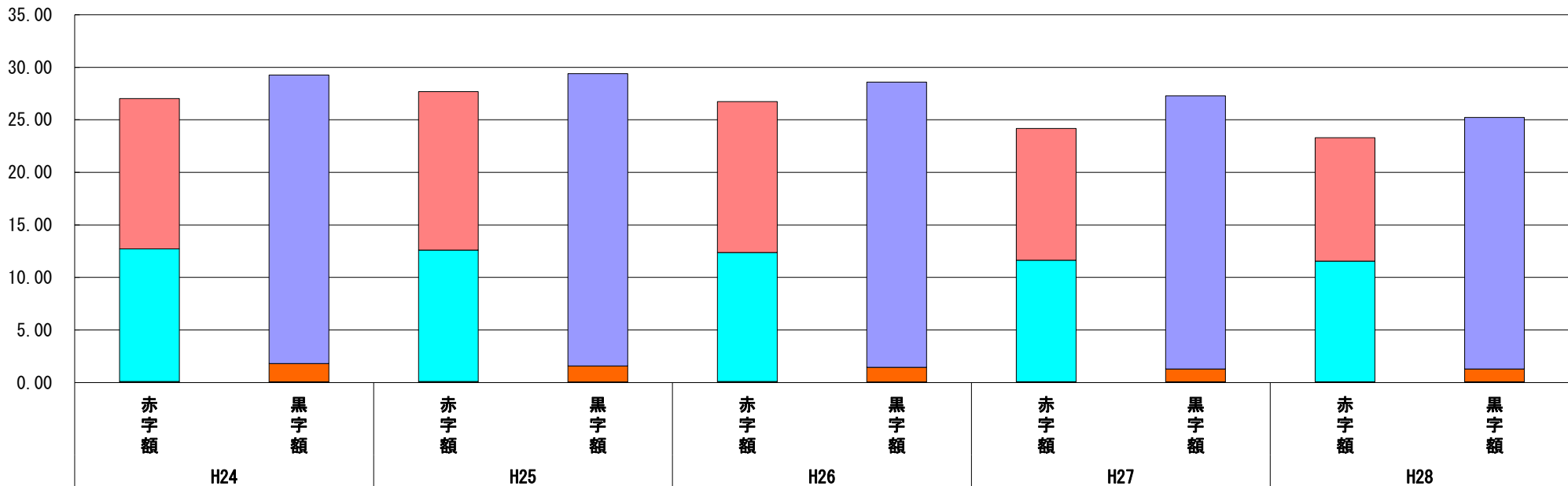
今後も、事務事業の見直しを行い人件費や緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により起債の新規発行の抑制に尽力し、健全な行財政運営に努めていく。

### (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成28年度

福岡県川崎町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
国民健康保険事業勘定特別会計		▲ 14.31	▲ 15.08	▲ 14.37	▲ 12.54	▲ 11.74
住宅新築資金等貸付事業特別会計		▲ 12.62	▲ 12.50	▲ 12.27	▲ 11.56	▲ 11.50
学校給食センター特別会計		▲ 0.10	▲ 0.10	▲ 0.10	▲ 0.08	▲ 0.06
一般会計		27.46	27.82	27.14	26.00	23.95
水道事業会計		1.75	1.53	1.40	1.22	1.22
後期高齢者医療特別会計		0.06	0.05	0.05	0.06	0.06
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

#### 分析欄

連結実質赤字比率に係る赤字の会計は、主に国保会計、住新会計である。特に国保会計は増加傾向にあったことから、平成26年度から赤字補填として財源を一般会計より継続して繰出ししている。平成30年度からの県単位の保険制度に移行することから、現在実施している健康診断の無料化や保健指導等を充実させ、病気の予防、早期発見、早期治療につなげ健康づくりを推進していき、より一層医療費の削減に努めていく。

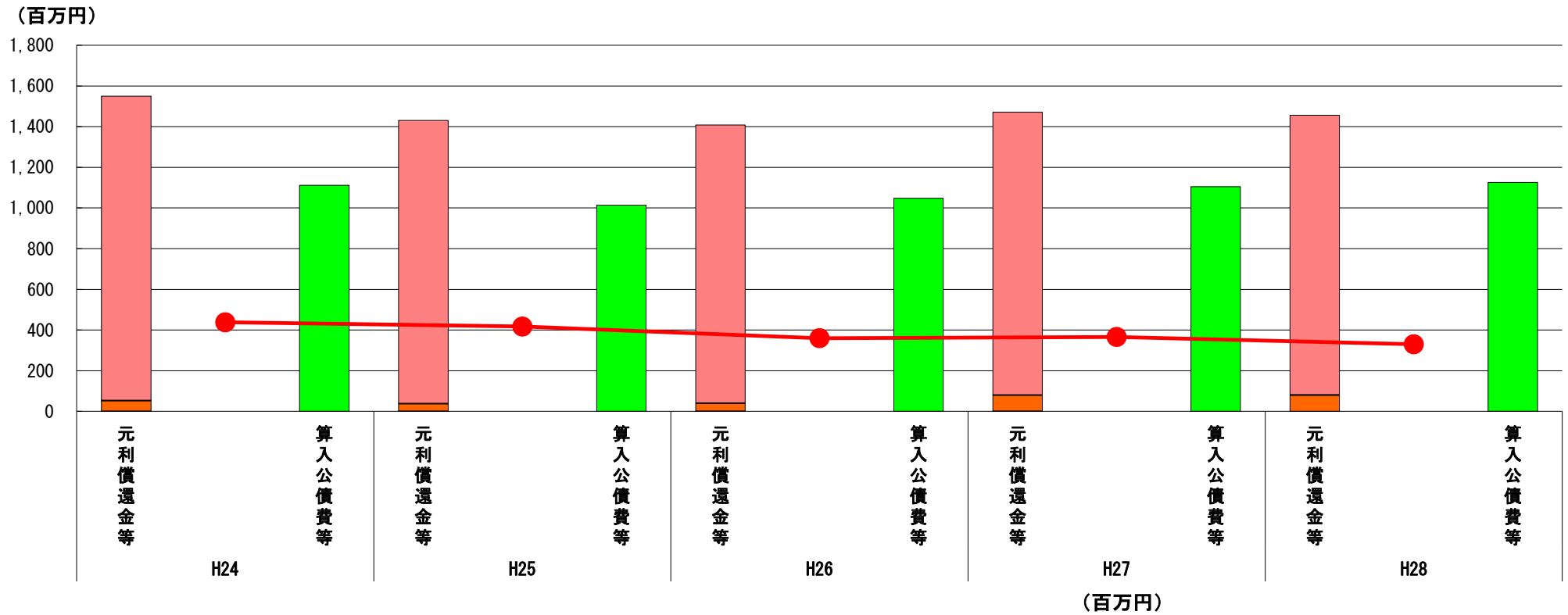
なお、今後も各会計毎の適正な予算執行を行い、連結赤字とならないよう努める。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

福岡県川崎町



分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,495	1,391	1,366	1,389	1,373
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		3	3	3	3	4
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		50	35	37	77	78
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		2	2	2	2	1
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,112	1,014	1,048	1,105	1,126
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		438	417	360	366	330

**分析欄**

昭和50年代に借入した住新会計及び地域改善の元利償還金がほぼ終了し、平成22年度まで借入をしていた産炭地域開発事業の終息、平成13年度からの財政健全化計画による投資的事業の抑制により元利償還金の減に努めている。

今後も、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の取捨選択により、新発債発行の抑制に努める。

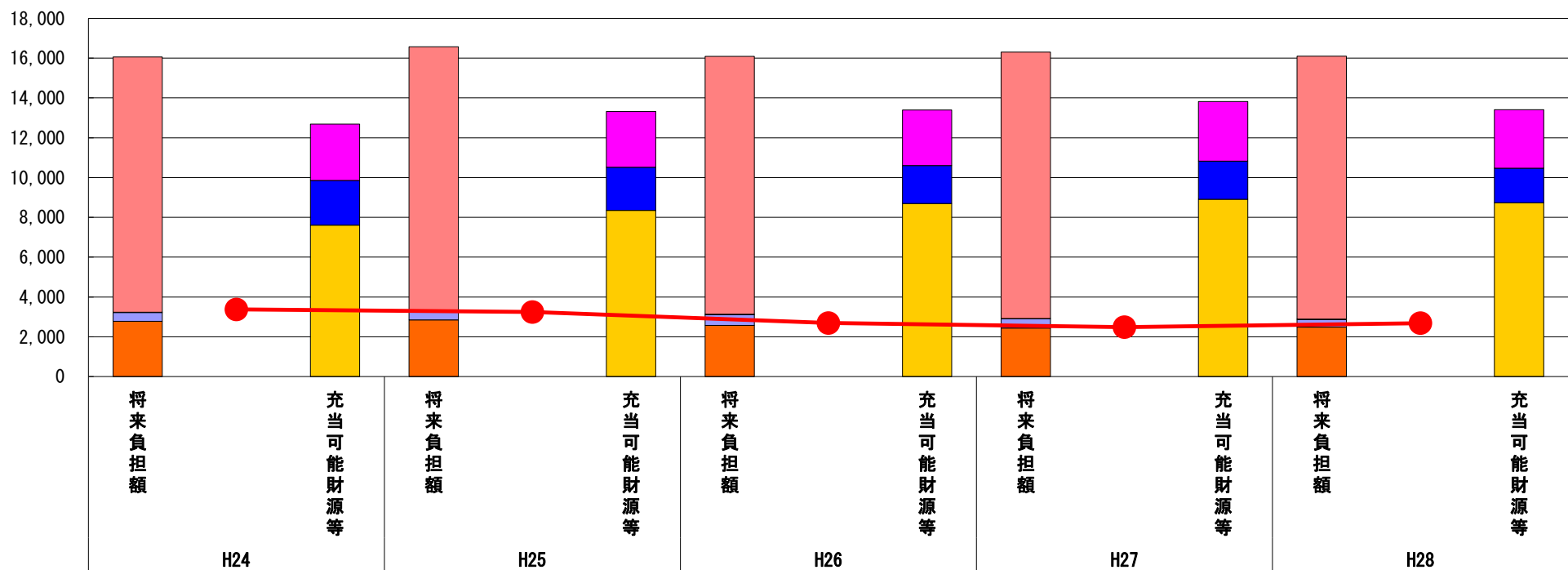
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

福岡県川崎町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		12,815	13,231	12,955	13,380	13,207
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		20	21	20	18	20
	組合等負担等見込額		438	467	538	463	381
	退職手当負担見込額		2,780	2,846	2,572	2,440	2,488
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,824	2,807	2,792	2,994	2,943
	充当可能特定歳入		2,250	2,164	1,909	1,910	1,731
	基準財政需要額算入見込額		7,607	8,352	8,694	8,911	8,735
(A) - (B)	将来負担比率の分子		3,373	3,243	2,690	2,485	2,687

## 分析欄

将来負担額の大半を占めているのが、「一般会計等に係る地方債の現在高」である。現在、長期計画にもとづく継続的な公営住宅建設事業が実施されているため、他の投資的事業とのバランスを常に分析し、引き続き新発債の抑制に努める。

また、一般廃棄物処理施設建設事業による広域への負担金の増加が見込まれるため、今後は更なる事業実施の適正化を図ることと、団塊世代の大量退職による新規職員採用の補充を抑制し、将来の負担を少しでも軽減できるように努める。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。